

第7章 多様な機会の付与



チェックポイント

- 1 ▶ 本務以外の仕事も経験
- 2 ▶ 民間企業等への派遣研修

職員のキャリア形成を通じた成長においては、所属する組織や部署を離れた、多様な経験や成長機会の付与も重要です。各種の研修や他機関・地方公共団体等への出向のほか、国内外の大学院への留学など、様々な制度・機会がありますが、ここでは、いわゆる 20%ルールや官民人事交流の取組をご紹介します。

1. 本務以外の仕事も経験

自らの勤務時間のX%を普段とは異なる業務に充てても良いという、いわゆるX%ルールは、元々は Google が始めたものですが、公務においては「霞が関版 20%ルール」として、取組を進めた環境省の事例が有名です。

環境省：霞が関版 20%ルール

目的：職員が役所の外に積極的に出て社会との接点を持ちながら知見を深め成長することを促しつつ、既存の課室等の枠にとらわれず、互いの信頼と自律の下で社会のニーズに合った政策形成を実現していく組織となることを目指して開始しました。

概要：職員が自ら業務効率化に徹底的に取り組んだ上で、正規の勤務時間の一部（2割まで）を活用し、担当業務以外の活動に自らの発意で従事することができます。対象となる活動には、以下①～③の類型があります。

- ①新規開拓型（新規の環境政策の立案や改善等環境政策の推進に資すると見込まれる自律的活動（役所外でのステークホルダーとの対話・学会・勉強会参加、政策研究など）
- ②タスクフォース型（省全体の戦略的方向性を踏まえて取り組むべきテーマごとに構築されたタスクフォースへの参加（テーマも随時職員からの公募により採択）
- ③省内副業型（自部署以外の特定の課室等（省内副業先）が所管する分野の業務に従事するもの）

2. 民間企業等への派遣研修

職員に民間企業等での勤務を経験させる方法としては、1年以下の期間であれば研修として派遣することが可能です。民間派遣研修のほか、以下では、官民人事交流制度の説明とともに、実際に経験した方や人事担当者の声を紹介します。



役に立つ資料・ツール

官民人事交流に関するヒアリング結果要旨

令和7年3月

官民人事交流の効果や魅力、改善点を具体的に把握し、官民双方に向けた情報発信を更に強化するため、昨年8月から10月にかけて、官民の人事交流を経験した者及び人事担当者へのヒアリングを実施しました。

交流派遣(国→民)に係るヒアリング内容

●交流派遣のメリットとして各府省・民間企業に展開するもの(交流派遣の効果)

【各府省人事担当者】

- ・ 民間企業の業務の進め方や組織運営に関する知見・スキルの獲得により、個人のパフォーマンスが向上するとともに、管理職等に就いた際にはこれらがマネジメントを通じて他の職員にも普及し、業務効率化や組織活性化につながっている。

【民間企業人事担当者】

- ・ 企業の活動に対して、国側の視点から見直し等を提案してもらえるので部内の活性化にもつながっている。

●好事例として各府省・民間企業に展開するもの(人事配置上の工夫やオンボーディングなど)

【各府省人事担当者】

- ・ 職員からの希望を重視したいため、交流派遣者の選定には公募制を導入している。
- ・ 全職員が記載する身上書において異動希望先の項目の1つに「民間企業への派遣」を設けている。
- ・ 自組織内に限られない多様な勤務経験を望む者を交流派遣の対象候補者とし、人事を検討・調整している。職員の希望の趣旨を踏まえ、派遣先企業や従事する業務の内容について可能な限り調整を行っている。
- ・ 派遣経験を踏まえ、そこでの経験がいかせるような分野への配属やマネジメント等のスキルがいかせるような人事配置となるようにしている。
- ・ 特定の政策や業務に捉われず、仕事の進め方や組織マネジメントなどの面で、交流派遣により培われた知識やスキルを発揮することも期待される。

【民間企業人事担当者】

- ・ 交流派遣者への研修として、企業理念や経営ビジョン、企業内制度についての説明をしている。最近では、これらの支援を充実させるため、現場を見学したり、社員との座談会を開催したりすることを検討している。

●改善点として各府省・民間企業に展開するもの(府省と企業との間の情報共有)

【交流派遣経験者】

- ・ 出身府省の情報は府省の人事担当者から来ることはなかった。自ら知人等から情報を入手していた。
- ・ 出身府省と交流先企業との間で交流派遣中の業務への取組を共有することにより、復帰後のキャリアアップに反映させるように努めてほしい。

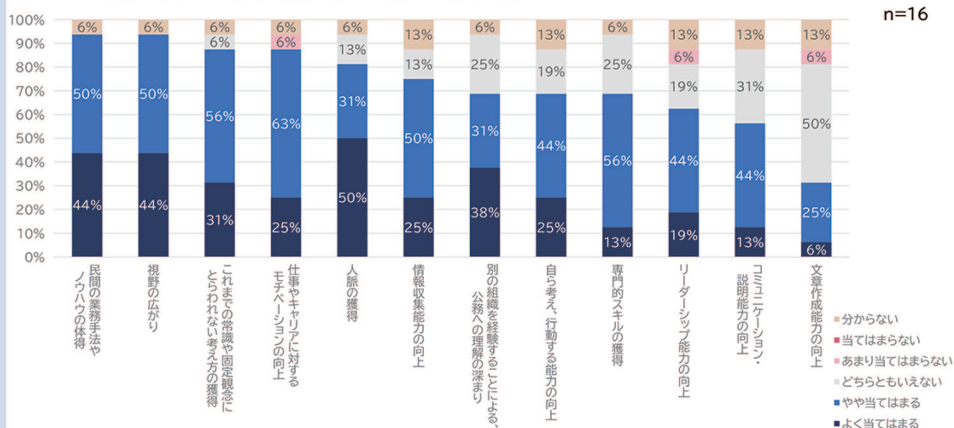
1

3 職員個人に対する効果(交流派遣)



「民間の業務手法やノウハウの体得」、「視野の広がり」、「これまでの常識や固定観念にとらわれない考え方の獲得」、「仕事やキャリアに対するモチベーションの向上」の順に、肯定的な回答が多い。

民間企業において勤務を経験することにより、職員にどのような成長や変化が生じていますか。以下の各項目について、お考えが一番近いものを選択してください(回答時点で派遣から復帰した職員がいないなどの理由で検証ができていない場合は、分からないを選択してください。)



官民人事交流制度 HP(人事院) URL : <https://www.jinji.go.jp/seisaku/kouryu.html>

※上記 HP には、アンケート結果及びヒアリング結果の詳細について掲載しています。